

2010年  
9月  
第2号

# MONTHLY 労働組合共済ニュース

発行 全国労働組合共済活動推進協議会・全国労働組合総連合共済会 発行人 加藤 勝廣  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-18-6 湯島夏目ビル5F TEL 03-5842-3750 FAX 03-5842-3752

..... CONTENTS .....

- 1面=秋の拡大月間来月からスタート/あらたに増えた仲間たち
- 2・3面=推進協議会第2回総会/はじめまして、よろしく! /入ってよかった!
- 4面=事務局からのお知らせ/「たすけ愛」

♪ニュースの正式名称募集中!! 詳細は4面に♪

## 秋の拡大月間 に向け準備すすむ

秋の拡大月間が来月からスタート!!  
秋の拡大月間は、10月~12月までの3ヶ月間で、今回は火災共済・自動車共済の拡大を重点的にすすめていきます。  
共済制度の安定化や充実には、共済加入の拡大が不可欠です。組織共済及び個人共済の優位性を多くの労働者に知らせ、2年間で倍加の拡大目標達成へ向けて、各労働組合・共済会で積極的な取り組みを宜しくお願いします。

### 山形県労連

7/31(土)  
~8/1(日) 第12回地域組織活動交流集会



### 共済活動は 労働者の経済的地位向上に

たたかいを地域から起こし、組織を大きく前進させようと、7月31日山形市内で、今年で12回目となる「地域組織活動交流集会」を開催し、県内の4つの地域労連の役員など合計20名が参加して交流を深めました。

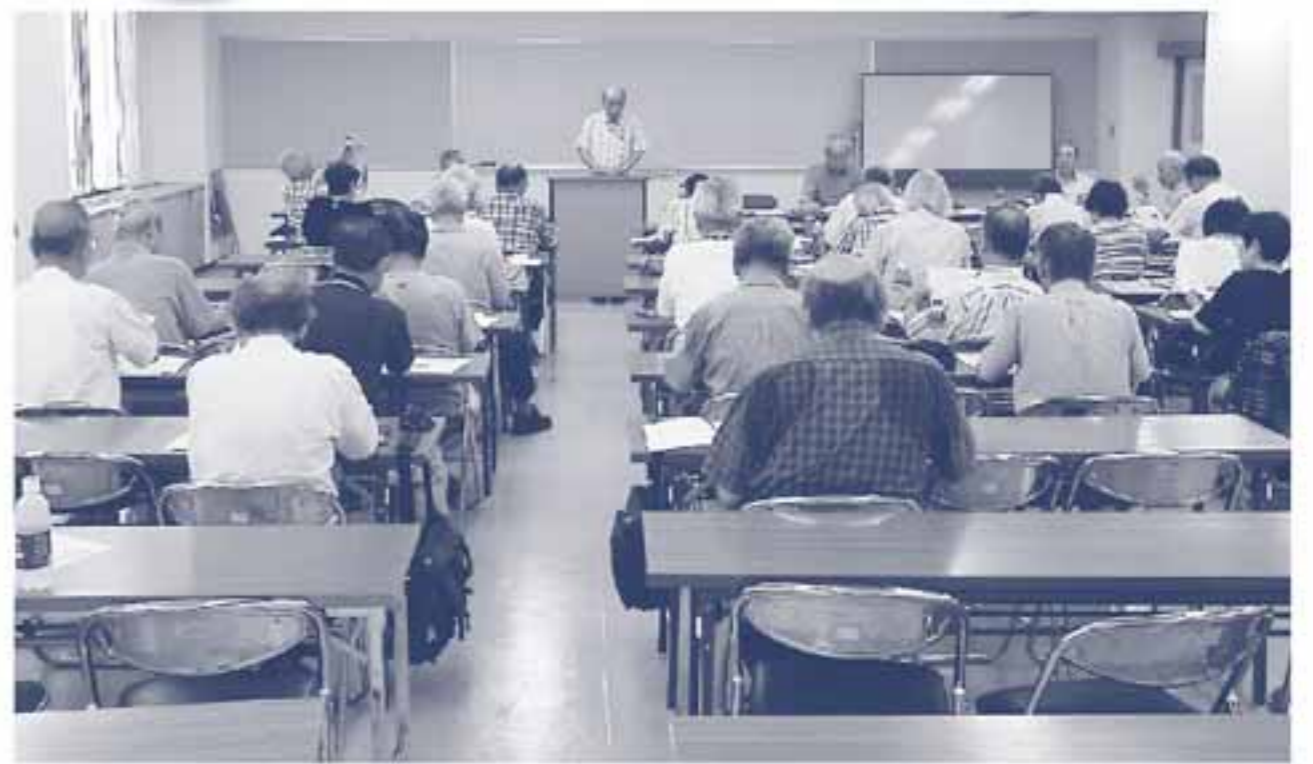
集会では最初に、全労連常任幹事の斎藤寛生さんが「組織の拡大・強化とローカルセンターの役割」と題して講演、地域労連の役割や組織拡大の飛躍を生み出すには何が必要か、などの理解を深めました。続いて、全労連共済専務理事の長谷川栄さんのごあいさつに続き、常務理事の高地守男さんから「地域労連における共済活動の重要性…地域に広げよう全労連共済」と題して講演を受けました。この中で、労働組合が共済活動に取り組むことは「労働者の経済的地位の向上」につながり、基本的な活動であることが改めて強調されました。地域労連で共済をすすめる際にも、考えているよりも煩雑な実務でないことが説明されました。

地域に共済運動を広げるうえで、今回の交流集会是重要な契機となりました。

(山形県労連事務局長 勝見 忍)

### 年金者組合神奈川県本部

7/27  
(火) 共済学習・交流集会



### 共済は労働者の助けあい 加入者へ7割還元の良い制度

年金者組合神奈川県本部は、7月27日、「全労連共済を学び交流する学習会」を開催しました。本年2月1日より労働共済から全労連共済に移行して何が変わったか、昨年1月からはじまった「たすけあい介護サービス」とはどのような制度なのかなど、各支部より寄せられる、質問・疑問そして、地域毎に学習会を開催してほしいなどの要望に応えるための開催でした。年金者組合本部中執・石川さんからは、各種共済の実態なども報告・説明がされ、共済運動は労働者の助け合いで民間保険と違って給付金として7割が割りあてられ、組織に1割が還元されるので、経費は2割で運営されており、大きな保障ができ有利である。全労連共済・佐久間さんからは、火災共済の例をあげ、他共済と比較した、掛金・保障額など一覧表が示され、全労連共済の充実した保障内容について説明がありました。参加者からは、事前文書質問を含め12支部より質問・意見が出されました。24支部より42名が参加し理解を深め合う学習・交流会となりました。

(年金者組合神奈川県本部副委員長 杉山 彰雄)

共済拡大へ……こんなことに取り組んでいます



## あらたに増えた仲間たち

2010年  
★6/1 (埼玉) JMIU埼玉地本直属共済会 2名  
★7/1 (宮城) 宮城一般アンネットヒューマン支部共済会 2名  
★7/1 (宮城) 宮城一般東京データサービス支部共済会 20名



はじめまして  
よろしく!



## 千葉県 協成労働組合共済会

(全労連・全国一般)

■2010年3月1日加入…7名■



### 協力して成り立つ労働組合 共済は我々運転手の救世主

はじめまして、全労連・全国一般⇨千葉地方本部労働組合・協成労働組合です。協成労働組合は千葉県市原市を中心とするタクシー・ハイヤー・バスを運営している株式会社ウルマツアーリングサービスの中で、2010年4月1日に発足しました。

現在のタクシー事情は大変厳しいものでお客様の利

用がなくなり売上が激減し、従業員の生活も限界を超えて来ています。その状況の中で協力して成り立つという意味で協成労働組合が誕生しました。組合員の人数は会社全体の4分の1ぐらいですが、分会長・副分会長・議長・書記・会計監査と後は執行委員という形で運営しています。会社の繁栄と安心して働ける職

場づくりを目標として、会社との交渉は難航していますが希望を持って頑張っています。

運転と言う特殊な作業をしているため常に危険にさらされているのが現状です。また常に健康に気をつけないと、病状の悪化や事故の危険性が高くなります。高年齢者も多く働いており、そのため過酷な業務の

割には保障となると泣き寝入りすることが多いのも現状です。

協成労働組合としては共

済の加入は交通共済5口・医療共済2口・慶弔型②1口です。運転業務は何があるかわからないため協成労働組合にとって共済は救世主だと考えています。

今は労働組合を立ち上げたばかりでわからないことも多く難題にぶつかってばかりいますが、会社に対し

ても運転手に対しても労働組合があることで環境が変わりつつあると実感しています。

組合員はまだ少ないですが、勇気を持って加入して頂いた方に感謝しています。

全労連・全国一般⇨千葉地方本部労働組合にはご迷惑お掛けしておりますが今後もお世話になりますのでよろしく願います。

(協成労働組合分会長

藤野晃次)

## 入っててよかった!

### 共済で労働組合の連帯を実感

私は全労連共済の前身である全国労働組合共済会に1987年発足以来、加入しております。

今度の事故(地域分会会議出席のため歩行中に、エスカレーターで転倒)で「労組活動事故見舞共済」の共済金を頂きました。

担当の方から、私の所属する化学一般全関東地本および東京一般労組でも「労組活動事故見舞共済」の初めての給付該当者と聞いて、労働組合の連帯システムの共済運動を実感しました。共済会の皆様に感謝致します。

東京南部共済会 佐藤 精男さん



# INFORMATION

## 事務局からのお知らせ

### 「全労連共済・推進協議会 第1回 組織代表者会議」を開催します

全労連共済事業部会と推進協議会実務支援部会の方針を具体化し、共済拡大を推進していくための意思統一を図る場として、「組織代表者会議」を開催します。

**日時** 2010年9月29日(水) 11:00~16:00(予定)

**場所** 全労連会館 2階ホール

東京都文京区湯島2-4-4 TEL 03-5842-5610

参加人数→単産・地方共済会毎 1名

※案内は、8月中旬に当該単産・地方共済会へ、すでに発送しております。

### 初級実務研修会を開催します

共済の実務担当者を対象とした「共済の理念・制度の概要」「初歩的な共済の実務処理」についての研修会を下記の日程にて開催します。

(募集案内は当該の共済会へすでに発送しております)

**日時** 2010年11月14日(日) 13:30開会  
15日(月) 12:00閉会

**研修会場** 新宿ワシントンホテル **新館**

〒160-8336 東京都新宿区西新宿3-2-9

TEL 03-3343-3111

**宿泊先** 新宿ワシントンホテル **本館**

### 顧問公認会計士=清水幹雄先生 逝去

8月19日午前、全労連共済前身の労働共済創立時以来、顧問としてご指導いただきました清水先生が、永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 2010年度 自転車保険募集結果

自転車保険 計:6,220件  
(昨年度計:6,110件)

●家族型		●個人型	
継続	3,575件	継続	1,704件
新規	562件	新規	379件
小計	4,137件	小計	2,083件

・次回募集時期・  
来春3月~5月末

**募集**

先月、創刊された「労働組合共済ニュース」(仮称)の正式名称を募集しています。

**採用された方には、iPadをプレゼント!**

佳作には宮崎県支援グッズをプレゼント!

採用されたタイトルが応募者複数の場合、プレゼントは抽選となります。

応募締切

**2010年9月30日**  
共済事務局必着

氏名・連絡先・共済会名を明記し、事務局までお送り下さい。

FAX:03-5842-3752

mail:info@rodokyosai.com

**よろしくお願ひします!!**

「労働組合共済ニュース」に  
名前をつけてください

column

たすけ  
愛

2

「共済の良き、知らせた?」

私は、4月に足を骨折し、1カ月余の入院と2カ月の自宅療養を経験した。痛みと自由にならない体で、「一日はこんなに長かったのか」と思い知らされた。私の場合は時期がくれば治る。しかし、病院で知り合った中には、長期療養の人も多い。欠勤で賃金が貰えず、雇用を心配しながら療養し、ケガや病気の痛みに加え、医療費の重圧にも耐えている人がいる。

ときは参院選直前、「社会的責任を迫り及し政治の力で改善を」と私は思う。だが、一般的には不満→要求にならず、企業の雇用責任や政治の責任を問う話には結びつかない。「自己責任論」の呪縛から抜け出し、政治を変えれば要求実現の道があることを知らせる大切さを実感した。入院中は、保険給付も話題になる。そこで、医療共済の「月額1000円の掛金で入院一日5000円の保障」の話をした。これには誰も「なぜ、そんな安い掛け金で?」と疑問と関心を示す。制度と仕組みを知らせ、はじめて納得する。全労連共済の拡大も同じである。どれだけ多くの組合員に共済の存在を知らせたかが前進のカギになると思う。(田)